

[横浜市民ギャラリー]
 令和5年度業務計画及び収支予算
 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／西田装美株式会社共同事業体]

※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業 ○：共催事業 を示します。
 ※ 文中の達成指標欄において、
 □：定量的指標 ■：定性的指標 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリー
所在地	横浜市西区宮崎町 26-1
構造・規模	鉄筋コンクリート 4階建（地下1階～地上4階）
敷地・延床面積	敷地面積 2,301.11 m ² 、延床面積 3,428.44 m ²
開館日	平成 26 年 10 月 10 日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／西田装美株式会社共同事業体
代表団体所在地	横浜市中区山下町 2 番地
代表団体代表者	理事長 近藤 誠一
代表団体設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで
現指定管理者（代表団体）の 管理運営開始日	平成 8 年 4 月 1 日から

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

1964年の開館以来、日本で最初に「市民ギャラリー」を冠した施設として、横浜市の芸術文化の発展の一端を担い親しまれてきた歴史の更なる継続と、未来へ向けた市の文化芸術政策等への貢献を念頭に、次の3つの方針をもって、市民の文化活動の支援、次世代育成を重視した運営に取り組みます。

方針1 「市民のための」ギャラリーであるからこそ、市民の文化活動を支え、地域と連携しながら、誰もが芸術文化に触れることができる機会を提供します。

- ① 「市民の文化芸術活動を支え、交流を生み、情報発信のターミナルになるギャラリー」としての運営を行います。（使命1）
- ② 「同時代の表現や、個人の創作活動を通して、人との出会いと多様な価値観に触れる機会を提供するギャラリー」としての運営を行います。（使命2）

方針2 市民の貴重な財産である収蔵作品を次世代へ継承するため、保管環境の改善と修復等について横浜市と緊密に情報共有を行い共に取り組むとともに、事業を通じて、その魅力を伝えていきます。また、子どもたちをはじめとして文化に関わる次世代を育成します。

- ① 「市民の貴重な財産である収蔵作品を次世代に継承すべく力を注ぎ、その魅力を伝え、美術への関心を喚起するギャラリー」としての運営を行います。（使命3）
- ② 「次世代の感性を育て、誰もが生涯にわたって芸術文化に触れる喜びを持つことができるギャラリー」としての運営を行います。（使命4）

方針3 持続可能な施設運営を目指し、変わらない安心と変わる勇気をもって、安心・安全で快適な環境づくりに努めます。

- ① 「安心・安全で持続可能な施設であるために、変わらない安心と変わる勇気を持ったギャラリー」としての運営を行います。（使命5）
- ② 「徹底した感染防止対策の下で、細心の注意と情報共有に努め、迅速に対応するギャラリー」としての運営を行います。（使命6）

（2）令和5年度の業務の方針

ア 全体について

第4期の2年度目となる令和5年度も、幅広い利用者の文化活動実現の場としての貸館事業、「新・今日の作家展」・「横浜市こどもの美術展」・「コレクション展」を中心とした展覧会や幅広い市民を対象とした講座等の自主事業、収蔵作品の保存活用、他施設との連携や若手作家支援等について、これまでの経験やノウハウを活かしながら着実な運営を行います。また、開館60周年及び現在地への移転10周年である令和6年度の「周年事業」実施に向けた準備を進めます。

イ 使命1 文化芸術活動を促進するため、活動の場を提供する

市民の皆さんに美術を中心とした文化芸術活動を創作、体験、発表する場を提供することで、市民の文化芸術活動を支援し、文化活動人口（文化活動の支援者を含む）の増加に寄与する。

＜市民の文化芸術活動を支え、交流を生み、情報発信のターミナルになるギャラリー＞

当館は、細やかで丁寧な貸出業務を通じて市民の皆さんの文化活動を支えています。展覧会を開催する人、鑑賞する人、作品を創る人、体験する人、すべての人にとって身近でありながら、晴れの場であり、人と人が交流する喜びを生む空間であるよう運営していきます。また、市内の多くの美術施設の活動を発信することでその活動を支援し、文化活動に携わる人の増加に寄与します。

ウ 使命2 文化・芸術の鑑賞の機会を提供する

美術を中心とした、芸術文化に触れる機会を提供することで、新たな気付きや発見を促し、多様な価値観を受け入れる文化の醸成に貢献する。

＜同時代の表現や、個人の創作活動を通して、人との出会いと多様な価値観に触れる機会を提供するギャラリー＞

当館は、同時代に活動する作家の作品に触れ楽しむ、心豊かな時間を提供するとともに、横浜の美術史を継承した文化醸成の一翼を担い、その歴史を未来へ繋いでいきます。

開催される多彩な展覧会に気軽に訪れることができる場として、地域に根差して活動を展開する団体（町内会、公共施設、画廊、創造界限拠点、神社仏閣、保育園等）と分野を越えて繋がり、人との出会いと多様な価値観に触れる機会を提供します。

エ 使命3 収蔵作品の活用を通じて、文化芸術活動への興味を引き出す契機となる

収蔵作品の調査研究に取り組むとともに、計画的かつ適切な管理・保存等を行うことにより、収蔵作品を次世代へ継承する。また、収蔵作品の活用を積極的に行い、美術に対する関心を喚起する機会を創出する。

＜市民の貴重な財産である収蔵作品を次世代に継承すべく力を注ぎ、その魅力を伝え、美術への関心を喚起するギャラリー＞

当館の収蔵作品は、同時代および地域の美術史をあらわすものであり、市民の貴重な財産です。作品が制作された当時の時代性が反映された表現は過去を知る手がかりとなり、現代においても新たな視点をもたらします。

この収蔵作品を「コレクション展」を核とした各種事業を通じて積極的に活用し、美術への関心を喚起する機会を創造発信します。

また、収蔵作品を次世代へ継承するため、収蔵作品の状況及び修復の必要性や、収蔵庫の状況改善などについて、横浜市と協働し取り組みます。

オ 使命4 文化活動を切り口として、次世代育成を中心にあらゆる人を受け入れる

次世代育成を中心に、美術を中心とした文化に触れる機会を提供し、豊かな感性を育む。

＜次世代の感性を育て、誰もが生涯にわたって芸術文化に触れる喜びを持つことができるギャラリー＞

当館において家庭、学校以外の「第3の場所」として体験する文化活動を通じて、子どもたちの自由な発想と豊かな表現を育み、その健やかな成長を応援し、子どもたちが生涯にわたって芸術文化に親しむきっかけを提供します。

また、学生インターンやボランティアを受け入れ、アートにかかわる就業を目指す若い人たちに機会を提供するとともに、特別支援学校生への職業体験の場の提供等を通じて障がいのある子どもたちへアプローチします。

カ 使命5 持続可能性を高める施設運営を行う

法令等に則った施設の保守・点検や日常的な予防的修繕などの維持管理を行い、安全で快適な施設を維持する。また、効率的な経費の執行や収入増の取組等により、安定的な施設運営を行う。文化施設としての専門性を発揮し、市民の皆さんに親しまれる施設となる。

＜安心・安全で持続可能な施設であるために、変わらない安心と変わる勇気を持ったギャラリー＞

当館施設は、築36年（昭和62年・1987年竣工）を超えた建物を改修して利用しています。そのため、特に施設の長寿命化を図るための予防的修繕及び収蔵庫の環境改善が重要です。建物管理を専門とし文化施設の施設運営に豊富な経験とノウハウを持つ事業体として、専門的な知見から常に状況を把握して予防的修繕や維持管理を行うとともに、長期的な持続可能性を高めるための修繕や計画について横浜市に情報提供を行いながら協働し取り組みます。

快適な施設環境の提供とお客さまの安全を第一とした運営により、市民の文化活動を支え、多く

の皆さんに親しまれる施設としての持続可能性を高めていきます。

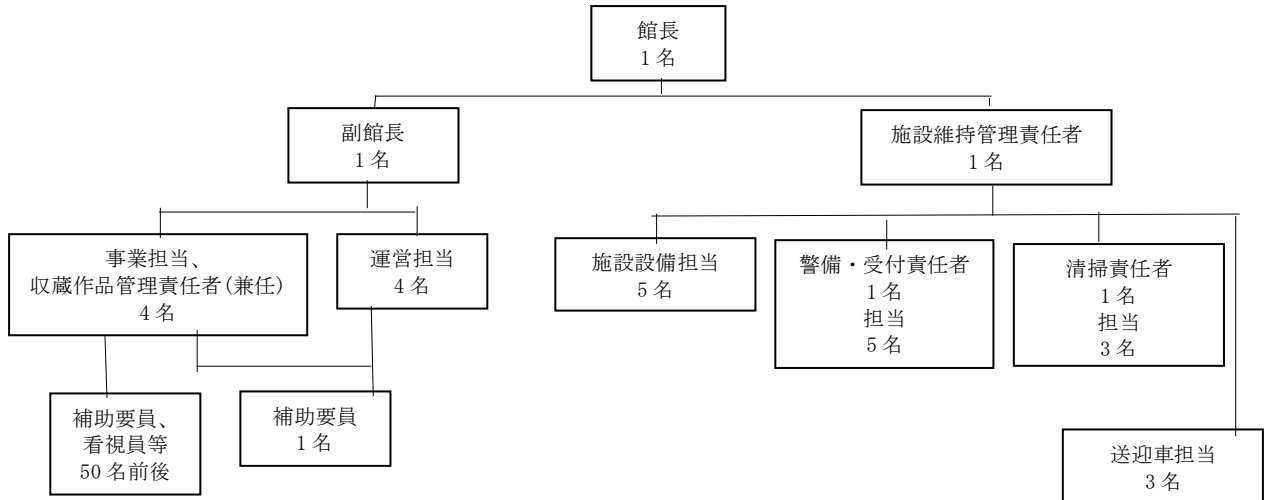
キ 使命6 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、徹底した感染防止対策の下で、安全に貸館事業及び自主事業を実施し、市民の文化活動の基盤としての施設運営を継続する。

＜徹底した感染防止対策の下で、細心の注意と情報共有に努め、迅速に対応するギャラリー＞

横浜市との綿密な情報共有と連携を図り、国、県、市及び美術業界や業種別のガイドラインを踏まえた衛生管理や対策を徹底し迅速に対応することで、市民の皆さんの文化芸術活動の基盤としての役割を維持します。

4 運営組織の構造、人員配置



統括責任者である館長の下に、事業、運営系に横浜市芸術文化振興財団の職員（一部業務委託を含みます）が、施設維持管理系に西田装美株式会社の社員（送迎車は平和交通株式会社に委託）を配置します。

共同事業体としての専門性、強みを活かした運営組織となっています。

5 令和5年度の業務の取組

(1) 文化事業

「新・今日の作家展」、「横浜市こどもの美術展」、「コレクション展」といった長年開催してきた歴史ある展覧会と、「大人のためのアトリエ講座」、「ハマキッズ・アートクラブ」などアトリエを利用した講座といった基幹事業に加え、第3期からスタートした「地元地域5館連携事業＝横浜・紅葉ヶ丘まいらん」や、「U35 若手芸術家支援事業」についても、幅広い世代の鑑賞者や参加者の関心を喚起し、積極的に来館いただけるよう工夫し開催します。具体的な取組内容や指標は、完了確認表に記載します。令和6年度に迎える「開館60周年」、現在地への「移転10周年」の記念事業についても平行して準備を進めます。

(2) 施設の提供

これまでと同様に施設（展示室・アトリエ）をスムーズにご利用いただけるよう、利用者の方々とのコミュニケーションを密に行っていきます。また、新たな施設利用者獲得に資する試みを展開していきます。具体的な取組内容や指標は、完了確認表に記載します。

(3) 施設運営

具体的な取組内容や指標は完了確認表に記載します。

(4) 施設管理

築36年となる当施設建物は、至る所に不具合が出てきています。いち早く変調を察知するため、日々の点検を確実にいきます。建物の長寿命化に向けて不具合箇所の修繕について横浜市に適切に相談します。またIPM（総合的有害生物管理）手法を通じた管理をより確実なもの

とするべく、環境管理会議を毎月実施し、軌道に乗せることに取り組みます。具体的な取組内容や指標は、完了確認表に記載します。

(5) 収支

利用料収入以外での収入の獲得と、経費削減とで、適切な収支バランスの確保に努めます。具体的な取組内容や指標は、完了確認表に記載します。

(6) 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

各種計画書・報告書につきましては、遅滞なく提出いたします。具体的な取組内容や指標は、完了確認表に記載します。

(7) その他

館の長年にわたる活動実績やコレクションの情報を公開し、調査研究など様々な目的で広く一般に活用していただけるよう、ホームページの事業アーカイブおよび収蔵作品検索ページの作品サムネイル画像の公開範囲を順次拡充します。

6 使命の指標の達成状況と重点的取組事項

※令和5年度がコロナ禍後となっていることを想定。

(1) 使命1 文化芸術活動を促進するため、活動の場を提供する

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目		R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	施設利用率(展示室及びアトリエ)	展示室	—	95%以上	—	—	—	95%以上	—
		アトリエ	—	44%	—	—	—	45%	—
2	総来場者数		—	25万人以上	—	—	—	25万人以上	—
3★	新規利用登録団体数(展示室、アトリエ共通)		—	20件以上/年	—	—	—	20件以上/年	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	利用者、来館者の	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	「お客さま台帳」の作成やアンケート調査を行い、ニーズを把握

状況について の現状把握	R 5 実績	—
	R 6 実績	—
	R 7 実績	—
	R 8 達成指標	把握したニーズが運営に反映されている
	R 8 実績	—

ウ 使命1を達成するために重点的に取り組む事項

横浜市民ギャラリーにとっては、展覧会や各種講座への来場者様も、またこれらを主催されるご利用者様も、どちらも大切なお客様です。使命1はその運営の根幹となるため、全てにおしなべて重点的に取り組むべき事柄です。そのうえで、令和5年度は、U35若手芸術家支援事業の実施、また「お客さま台帳」の作成を継続して取り組みます。

(2) 使命2 文化・芸術の鑑賞の機会を提供する

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	自主事業への参加人数	—	4,000 人以上	—	—	—	4,000 人以上	—
2	来場者(参加者)の満足度(アンケート調査)	—	満足度 調査平 均4.0 以上	—	—	—	満足度 調査平 均4.0 以上	—
3 ★	5館連携事業「横浜・紅葉ヶ丘まいらん」、アートなお散歩支援事業、地域連携事業などで新たに連携する団体	—	3団体	—	—	—	5団体	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	参加者の声(インタビュー調査)	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	インタビュー調査実施、ニーズ・課題を把握
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	参加者の声を運営に反映
		R 8 実績	—

ウ 使命2を達成するために重点的に取り組む事項

「新・今日の作家展」では、アーティスト・インタビューおよびアーカイブの充実を図り、より多くの人の展覧会への関心を促すとともに作家の活動を広く発信します。また、横浜市民ギャラリーがこれまでに築いてきた地域との関わりを軸に、近隣施設に出向いた出張ワークショップを行うことで住民の皆様に親しみを持っていただき、ギャラリーの広報に繋がります。若葉町・黄金町エリアの文化施設と定期的に情報交換を行い、同エリアで活動するアーティストが講師を務める講座を開催することで、新たなクリエイティビティを創出し、相互に人の流れを促します。

(3) 使命3 収蔵作品の活用を通じて、文化芸術活動への興味を引き出す契機となる

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R4 実績	R5 達成 指標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 達成 指標	R8 実績
1	コレクション展への来館者数	—	4,000 人以上	—	—	—	4,000 人以上	—
2	来場者(参加者)の満足度(アンケート調査)	—	満足度 調査平 均4.5 以上	—	—	—	満足度 調査平 均4.5 以上	—
3 ★	本施設ホームページ収蔵作品 紹介「今月の1点」への来訪 者数	—	3,000 件	—	—	—	3,800 件	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

	項目	達成指標と各年度の実績	
1	収蔵作品 の状況把 握	R4実績	—
		R5達成指標	作品の点検、確認を行い各種データに反映
		R5実績	—
		R6実績	—
		R7実績	—
		R8達成指標	横浜市と以降5年の作品修復計画を協議
		R8実績	—

ウ 使命3を達成するために重点的に取り組む事項

講座をはじめとした事業でコレクションを取り上げる機会を今年度も作ります。また、情報誌やホームページに加え、エントランスのモニター、送迎車において収蔵作品とその解説を上映する取り組みを行います。

(4) 使命4 文化活動を切り口として、次世代育成を中心にあらゆる人を受け入れる

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	次世代育成を目的とした事業への参加人数	—	15,500人以上	—	—	—	15,500人以上	—
2	来場者(参加者)の満足度(アンケート調査)	—	満足度平均4.5以上	—	—	—	満足度平均4.5以上	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	参加者の声(インタビュー調査)	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	インタビュー調査実施、ニーズ・課題を把握
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	参加者の声を運営に反映
		R 8 実績	—
2 ★	事業に参加した親子、職業体験参加の生徒・保護者(特別支援学校・養護学校)へのアンケート実施	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	結果分析、事業見直し、企画立案
		R 5 実績	
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	事業一部リニューアルまたは新規事業開始
		R 8 実績	—

ウ 使命4を達成するために重点的に取り組む事項

「横浜市こどもの美術展」では、令和4年度に初開催して好評を得た、子どもと大人が会話をしながら一緒に楽しめる「こどものためのコレクション展」を継続し、子どもたちとその親世代の方々に所蔵作品に親しんでいただき、気軽に美術鑑賞を行う機会を提供します。また、中学生から高齢者まで幅広い年代の方が参加できるボランティア活動、大学生・大学院生が美術施設運営の現場体験を積むことができるインターンシップに取り組めます。

(5) 使命5 持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数	—	0 件	—	—	—	0 件	—
2	法定点検等の実施率	—	100%	—	—	—	100%	—
3	修繕予算の執行率	—	90%	—	—	—	90%	—
4	自主的な収入を得るための取組と目標額	—	1500 万円/ 年	—	—	—	1500 万円/ 年	—
★	IPM (総合的有害生物管理)の手法による環境管理の実施率	—	100%	—	—	—	100%	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	ヒアリングを行い、必要と判断される案件について対応
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	ヒアリングを行い、必要と判断される案件について対応
		R 8 実績	—

ウ 使命5を達成するために重点的に取り組む事項

IPM (総合的有害生物管理) では、施設内の情報共有を密にし、所蔵作品を持つ施設として環境維持への意識を高く保つため、令和4年度より開始した共同事業体による月1回の環境管理会議を継続し、情報共有・環境改善に役立てます。

令和5年度 横浜市民ギャラリー 指定管理業務計画表

評価項目		令和5年度計画		実施状況		評価	
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
1 芸術文化に触れる機会の提供(自主事業)(使命2)	1 同時代の多岐にわたる表現を多角的に紹介	□①新・今日の作家展 実施回数	1回			【成果】 【課題】	【評価できる点】 【更なる取組を期待する点】
		□②アーティスト・インタビュー、アーカイブ 実施人数	1名				
		□③トークイベント、ワークショップ 実施回数	2回				
		□④入場者数	4,000名				
		■⑤出品作家の継続的な広報支援	随時				
		□⑥記録集の作成 実施回数	1回				
		□⑦顧客満足度	4.0以上				
	2 芸術文化に親しみ、集い、様々な背景を持つ人との交流を促す	□①大人のためのアトリエ講座 講座数	10回				
		□②つくって学ぶ 実施回数	8回				
		□③きいて学ぶ 実施回数	2回				
		□④コレクション活用講座 企画(②または③の内数)	実施				
		□参加者数	200名				
	□顧客満足度	4.0以上					
	3 多様な価値観を受け入れ、互いを尊重し合う文化の醸成に貢献	■①横浜・紅葉ヶ丘まいらん	通年				
		■②アートなお散歩支援事業 関係づくり検討	実施				
■③黄金町、若葉町との緩やかな連携		実施					
■④地域で開催されるイベントへの協力		実施					
2 収蔵作品の管理・保管、及び活用(使命3)	1 豊かな収蔵作品の魅力を伝える	□①コレクション展 実施回数	1回			【成果】 【課題】	【成果】 【課題】
		□②入場者数	4,000名				
		□③顧客満足度	4.0以上				
		□④収蔵作家・関係者インタビュー、アーカイブ 実施人数	1名				
		□⑤コレクション展に関連するイベント 実施回数	2回				
		□⑥鑑賞サポーター活動	1回				
	2 幅広い年代の方々に、収蔵作品の魅力を伝える	□①コレクション活用講座 企画 ※1-2-4に記載	—	—			
		□②こどものためのコレクション展 実施回数	1回				
		■ホームページ、情報誌を通じた作品紹介	実施				
		□③(1)ホームページ「収蔵作品検索ページ」「今月の1点」公開件数	6件				
		□③(2)『横浜画廊散歩』『アートヨコハマ』での作品・作家紹介 件数	10件				
		□③(3)エントランスホールのモニターおよび送迎車での作品紹介	実施				
	3 収蔵作品を計画的かつ適切に管理・保存し、次世代に継承	収蔵庫環境管理および収蔵作品の管理・修復・貸出の適切な実施	隔月 週1回				
		■①IPMを取り入れた収蔵庫の環境管理 実施回数	随時				
		■③収蔵作品の修復	実施				
		■⑤収蔵作品の貸出、問い合わせ等対応	随時				

令和5年度 横浜市民ギャラリー 指定管理業務計画表

評価項目		令和5年度計画		実施状況		自己評価
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	
3 子どもたちをはじめとする次世代育成(使命4)	1 子どもたちが表現活動に取り組み、芸術文化に身近に触れる機会の提供	<input type="checkbox"/> ①横浜市こどもの美術展 実施回数	1回			【成果】 【課題】
		<input type="checkbox"/> 入場者数	15,000名			
		<input type="checkbox"/> 出品数	300点			
		<input type="checkbox"/> 顧客満足度	4.0以上			
		<input type="checkbox"/> ②(1)こどものためのコレクション展 実施回数 ※2-2-②に記載	—	—		
		<input type="checkbox"/> ②(2)自由参加ワークショップ 実施回数	1回			
		■②(3)夏の子ども音楽会実施検討	実施			
		<input type="checkbox"/> ③ハマキッズ・アートクラブ 講座数	10回			
		<input type="checkbox"/> 参加者数	200名			
		<input type="checkbox"/> 顧客満足度	4.0以上			
		<input type="checkbox"/> ③横浜市民ギャラリーまるごと探検ツアー 実施回数	1回			
		<input type="checkbox"/> ④横浜市芸術文化教育プログラム推進事業 学校プログラムコーディネート校数	3校			
	2 若手芸術家による作品発表の支援	■①U35若手芸術家支援事業の実施	随時			
	3 あらゆる人の参画、学び、交流の場の創出	■①大学生・大学院生インターンの受入れ	実施			
		<input type="checkbox"/> ②ボランティア活動 実施回数(コレクション展鑑賞サポーター等)	2回			
■③(1)職業体験(特別支援学校生)の受入れ		実施				
■③(2)職業体験(中学生、高校生)の受入れ		実施				

令和5年度 横浜市民ギャラリー 指定管理業務計画表

評価項目		令和5年度計画		実施状況		評価		
II 施設運営	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価	
1 文化活動のための施設提供及び市民の文化芸術活動の支援(貸館事業)(使命1)	1 ご利用団体の活動をサポートする取組	①お客さま台帳の更新	実施			【成果】 【課題】	【評価できる点】 【更なる取組を期待する点】	
		②アトリエの利用促進	実施					
		■(1)施設情報発信による施設情報周知	実施					
		■(2)ホームページでの空き室情報の公開	実施					
		□(3)アトリエ利用率	44%					
		■③附帯設備の充実	実施					
	2 情報発信支援	■④ご利用打合せと相談	実施					
		⑤送迎車運行サービス	実施					
		■(1)車椅子利用者等の利用にも配慮した無料の送迎車の走行	実施					
		■(2)展覧会に即した着実な運行とスケジュール周知	実施					
		■①本施設ホームページ運営、SNS運営	実施					
		□②「横浜画廊散歩」発行	6回					
		□③「アートヨコハマ」発行	3回					
	3 新たな表現者、鑑賞者を迎える取組	□④「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」発行	1回					
		■⑤多文化共生に向けて活動している団体への情報提供に向けた検討	実施					
■⑥障がいのある方の文化芸術活動を支援している団体との情報交換に向けた検討		実施						
2 組織的な施設運営(様式14)	1 必要人材の配置と職能	■⑦ホームページにおける事業アーカイブの拡充	実施					
	2 主要人材の能力担保	■①U35 若手芸術家支援事業 ※I-3-2-①に記載	—	—				
		■②10人以下の団体および個人への貸出	実施					
		■①共同事業体各社から業務ごとに専門性の高い職員を適正に配置する。	実施					
		■①職員各々に応じたOJTについて年間を通じて実施する。	実施					
		■②MBO 制度による組織的な業務遂行	実施					
		■③専門職員研修	実施					
		■④人権研修 ※VI3に記載	実施	—				
		■⑤コンプライアンス研修	実施					
		■⑥個人情報保護法研修	実施					
		■⑦防災訓練	実施					
		■⑧AED取扱い研修未受講の新配属スタッフ等対象に実施	実施					
		■①運営チーム確認ミーティング	週1回					
		□②職員全体ミーティング	月1回					
□③環境管理会議	月1回							
□④送迎車運行スケジュール調整会議	月1回							

令和5年度 横浜市民ギャラリー 指定管理業務計画表

評価項目		令和5年度計画		実施状況		評価	
II 施設運営	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
3 施設全体の運営に対する アイデア・ノウハウの一層の 活用 (様式25)	1 アートを楽しむことができる環境づくり	■①いりぐちギャラリー R6年度開始に向けた展示内容の検討	実施			【成果】 【課題】	
		■②美術図書読書コーナー設置検討	実施				
		■③飲料自動販売機とお菓子やパンの 自動販売機設置	実施				
	2 芸術文化に触れるきっかけづくり	■①美術団体の活動紹介 継続実施	実施				
		■②テーマを設けたポスター等の掲出	実施				
		■③ホームページ、YouTube、SNSでの 情報発信 ※Ⅱ-1-2①に記載	—	—			
		■④PR TIMESへの情報発信、タウン ニュース、ヨコハマ経済新聞等への情報 提供	実施				
		■⑤広報よこはま(西区版、中区版)への 情報提供	実施				
		■⑥画廊、美術施設の情報収集・発信 (情報誌)	実施				
		■⑦横浜の画廊、美術施設のホーム ページでの紹介 継続実施	実施				
		■⑧横浜市の重要事業の告知	実施				
	3 地域連携	■①5館連携事業「横浜・紅葉ヶ丘まいら ん」※Ⅰ-1-3①に記載	—	—			
		■②宮崎町親和会、伊勢山皇大神宮、成 田山横浜別院との情報交換	実施				
		■③アートなお散歩支援事業 関係づくり 検討 ※Ⅰ-1-3②に記載	—	—			
		■④黄金町、若葉町との穏やかな連携 ※Ⅰ-1-3③に記載	—	—			
■⑤横浜美術館、横浜市民ギャラリーあ ざみ野との連携		実施					

令和5年度 横浜市民ギャラリー 指定管理業務計画表

評価項目		令和5年度計画		実施状況		評価				
Ⅲ施設管理	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価			
1 保守管理業務 (使命5)	1 日常点検業務・定期点検業務	■業務の基準に即して実施。	定例実施			【成果】 【課題】				
		■設備管理業務日誌での日常点検の通年の記録と共有	実施							
	2 効果的な小破修繕への取組	■全職員及び横浜市との情報の共有。緊急のものは早期に横浜市と協議。	実施							
		■定期点検や日常点検、横浜市の施設管理におけるガイドラインに沿った点検・報告等の実施による修繕必要箇所の早期発見・対応	実施							
		■保守管理の専門技術を活かした、突発修繕への速やかな対処	実施							
	3 備品等の適切な管理	■備品等は、常に良好な状態に保ち、管理します。	実施							
		□年1回、物品管理簿の棚卸を行い、物品が適切に管理されているか確認し、市に報告します。	実施							
	2 環境維持管理業務 (使命5)	1 IPMの手法による施設環境課題への対応	□共同事業体で環境管理会議を開催	月1回					【成果】 【課題】	
			□職員による温湿度データ確認、カビのサンプリング、目視確認	隔月に1回						
■職員による簡易消毒、清掃			随時							
□専門会社による全館調査			1回							
■収蔵庫の空調管理の実施			室温22℃(±3℃) 湿度53%(±3%)							
□専門会社による地下1階展示室パネル裏消毒			1回							
2 全スタッフによる目配り		■展示室壁面の塗装、展示室可動パネルの稼働状況チェック	随時							
		■展示室貸出備品の点検・整備	随時							
		■アトリエ貸出附帯設備の点検・整備	随時							
3 保安警備業務 (使命6)	1 警備	■8:30～18:30までは警備担当による警備、18:30～翌8:30までは機械警備	実施			【成果】 【課題】				
		■異常感知した場合、専門業者が急行し必要に応じて所轄警察署に連絡し緊急対処を要請するとともに館長等に状況や対処方法を報告。	実施							
	2 怪我・急病	■異常発生時の報を受け次第、スタッフが現場へ急行、対応。	実施							
		■事故発生時、市を含む関係者に速やかに報告し、必要な対応と原因調査にあたる。	実施							
		■救急要請対応についてスタッフ研修を実施	実施							
		■AEDの完備、AED取扱い研修実施	実施							
4 防火・防災等 (使命5)	1 防火・防災対策	■共同事業体で自衛消防隊を組織	実施			【成果】 【課題】				
		□年2回防災訓練を実施する。	2回							
		■日頃からの危機意識の向上	実施							
		■感染症対策のため、日常的な清掃を徹底、手洗い等について喚起	実施							

令和5年度 横浜市民ギャラリー 指定管理業務計画表

評価項目		令和5年度計画		実施状況		評価	
Ⅲ施設管理	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
5 緊急時の対応 (使命5)	1 緊急時(災害発生時)の連絡体制・役割分担	■全職員に対し緊急時の連絡体制と役割分担についての周知を徹底する。	実施			【成果】 【課題】	
	2 災害発生時の取組	■横浜市において災害対策本部等が設置された場合は、その指示に従うとともに、横浜市と協力し災害対応に協力します。 ■災害が発生した場合は、お客さまの安全確保を最優先に対応します。災害の内容や規模に応じて、また横浜市の方針に基づき、すみやかに「広域避難場所」や「帰宅困難者一時滞在施設」に誘導できるよう、職員に対応について周知。	実施				
6 その他施設管理に関する事項	1 施設の管理を行う上で必要な資格者の配置	□電気主任技術者(3種)を1名選任する。	実施			【成果】 【課題】	
		□建築物環境衛生管理技術者を1名選任する。	実施				
		□甲種防火管理者を1名選任する。	実施				

評価項目		令和5年度計画		実施状況		評価	
Ⅳ収支	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
1 指定管理料のみに依存しない収入構造 (様式23)	1 利用料金収入の増加	□展示室・アトリエの利用料金収入	1,118万円			【成果】 【課題】	【評価できる点】 【更なる取組を期待する点】
		□駐車場の利用料金収入	100万円				
	2 「大人のためのアトリエ講座」において、講座直接経費を受講料収入で賄う方策を検討	講座直接経費の受益者負担率向上に向けた検討を行う。	実施				
3 その他収入等の増加		□印刷代収入	4万円			【成果】 【課題】	
		□自動販売機手数料収入	16万円				
		□助成金収入	50万円				
2 経費削減等効率的運営の努力 (様式23)	1 事業広報手段の転換	■オンライン印刷やインターネット配信、SNS等を効果的かつ効率よく活用することで、デザイン費・印刷費・郵送料などの節減。	実施			【成果】 【課題】	
	2 発注や事務の工夫、コスト意識	■横浜市に準じた当財団の経理規程に基づき、入札や見積合せにより経費を節減 ■職員が常にコスト意識を持ち、広報印刷物の有り方の工夫、事務用品の再利用等の徹底。	実施				
	3 施設・設備管理の工夫	■施設管理や修繕の経費、エネルギー使用状況等を日々確認し、経費節減・支出抑制を行う。	実施				
V 各種計画書・報告書の作成及び業務評価	業務の基準	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
1 日報、月報の作成・管理		□業務日報の作成	毎日			【成果】 【課題】	【評価できる点】 【更なる取組を期待する点】
		□管理運営月報・完了確認書を作成し、モニタリングにおいて報告	毎月				
		2 事業計画書・事業報告書の作成・管理	□事業計画書・事業報告書の作成	提出期限まで			
3 業務評価の実施	□自己評価(仮決算含む)	提出期限まで					

令和5年度 横浜市民ギャラリー 指定管理業務計画表

評価項目		令和5年度計画		実施状況		評価	
VI その他	選定要項	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
1 市の重要政策課題への対応 (様式26)	1 個人情報保護についての取組	■個人情報の保護に関する法令等を遵守し、個人情報を適正に取り扱う。	実施			【成果】 【課題】	【評価できる点】 【更なる取組を期待する点】
		□職員向けに個人情報保護に関する研修を年1回実施する。	1回				
	2 情報公開についての取組	■個人情報の取り扱いの規定及びマニュアル等に基づき適切に取り扱う。	実施				
		■横浜市の情報の公開に関する要綱や規定等に準拠して作成した当財団の「情報公開規程」に従って、公正で透明性の高い運営を担保。	実施				
	3 人権尊重についての取組	■必要に応じて当財団の顧問弁護士に相談できる体制をとる。	実施				
		□人権研修を年1回実施し、職員一人一人が人権尊重を実践するよう取り組む。	1回				
	4 環境への配慮に関する取組	■飲料自動販売機のペットボトル飲料を、可能な限り缶飲料に切り替える。	実施				
		■毎月のゴミ排出量の増減を確認し、削減や分別に関して掲示によりスタッフへの意識づけを実施。講座での物品の再利用等の工夫の実施	実施				
		■産業廃棄物は法令に則って適切に廃棄。	実施				
		■電気、ガス、水道の使用量を記録し、過年度同時期との比較・分析を行い、削減に努める。	実施				
		■印刷物製作にあたり、カーボンオフセットを活用。	実施				
	5 障害者差別解消	■来館者の立場にたった日頃の確認の実施。課題が見つかったときは素早く対応を実施。	実施				
		■職業訓練の受入を通じてスタッフが障がい者差別解消の理解を深める機会とする。	実施				
■スタッフが適切な行動をとれるよう、継続的な啓発の実施。		実施					
6 男女共同参画	■男性・女性の別なくスタッフが活躍でき、かつライフステージに応じた“多様な働き方”に対応できる職場づくり	実施					
	■個人が能力を最大限に発揮し、多様な人材が活躍することにより生産性が上がる活気ある職場づくり	実施					
7 市内中小企業優先発注についての取組	■「横浜市中小企業振興基本条例」を踏まえ、可能な限り市内中小業者への発注に努める	実施					
2 その他	1 保険及び損害賠償の取扱い	■施設賠償保険、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険へ加入	実施			【成果】 【課題】	
	2 関係法令等の順守	■業務を遂行する上での、定められた関連法規等の遵守	実施				
	3 市及び関係機関等との連絡調整	■事故に繋がる可能性のある不具合時は即日報告とし、随時共有	実施				

(指定管理者が記入する様式)

令和5年度 「横浜市民ギャラリー」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	152,985,000		152,985,000		152,985,000	横浜市より
利用料金収入	12,182,000		12,182,000		12,182,000	施設利用料、駐車場収入
自主事業収入	2,170,000		2,170,000		2,170,000	受講料、広告料
雑入	1,703,000	0	1,703,000	0	1,703,000	
印刷代	40,000		40,000		40,000	
自動販売機手数料	160,000		160,000		160,000	
その他(助成金・協賛金等)	1,503,000		1,503,000		1,503,000	助成金、雑収入等
収入合計	169,040,000	0	169,040,000	0	169,040,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	75,329,000	0	75,329,000	0	75,329,000	
給与・賃金	62,424,000		62,424,000		62,424,000	看視員賃金除く
社会保険料	8,527,000		8,527,000		8,527,000	
通勤手当	1,306,000		1,306,000		1,306,000	
健康診断費	71,000		71,000		71,000	
勤労者福祉共済掛金	48,000		48,000		48,000	
退職給付引当金繰入額	2,953,000		2,953,000		2,953,000	
事務費	3,225,000	0	3,225,000	0	3,225,000	
旅費	150,000		150,000		150,000	
消耗品費	201,000		201,000		201,000	
会議賄い費	3,000		3,000		3,000	
印刷製本費	150,000		150,000		150,000	
通信費	710,000		710,000		710,000	
使用料及び賃借料	693,000	0	693,000	0	693,000	
横浜市への支払分	123,000		123,000		123,000	目的外使用料
その他	570,000		570,000		570,000	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	33,000		33,000		33,000	
職員等研修費	10,000		10,000		10,000	
振込手数料	135,000		135,000		135,000	
リース料	1,079,000		1,079,000		1,079,000	
手数料	25,000		25,000		25,000	
地域協力費	36,000		36,000		36,000	
事業費	16,461,000	0	16,461,000	0	16,461,000	
自主事業費	16,461,000		16,461,000		16,461,000	看視員賃金含む
管理費	60,944,000	0	60,944,000	0	60,944,000	
光熱水費	11,000,000	0	11,000,000	0	11,000,000	
電気料金	7,195,000		7,195,000		7,195,000	
ガス料金	3,195,000		3,195,000		3,195,000	
水道料金	610,000		610,000		610,000	
清掃費	0		0		0	その他保全費に含む
修繕費	471,000		471,000		471,000	
収蔵作品点検・修復費	1,200,000		1,200,000		1,200,000	
機械警備費	0		0		0	その他保全費に含む
設備保全費	48,273,000	0	48,273,000	0	48,273,000	
空調衛生設備保守	0		0		0	その他保全費に含む
消防設備保守	0		0		0	その他保全費に含む
電気設備保守	0		0		0	その他保全費に含む
害虫駆除清掃保守	700,000		700,000		700,000	その他保全費に一部含む
駐車場設備保全費	0		0		0	その他保全費に含む
その他保全費	47,573,000		47,573,000		47,573,000	清掃費、機械警備費、空調衛生設備保守、消防設備保守、電気設備保守、害虫駆除(一部)、駐車場設備保全費、送迎車委託費、廃棄物処理等
共益費	0		0		0	
公租公課	6,846,000	0	6,846,000	0	6,846,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	6,797,000		6,797,000		6,797,000	
印紙税	25,000		25,000		25,000	
その他(法人住民税・電波使用)	24,000		24,000		24,000	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	6,235,000	0	6,235,000	0	6,235,000	
本部分	6,235,000		6,235,000		6,235,000	
当該施設分			0		0	
支出合計	169,040,000	0	169,040,000	0	169,040,000	
差引	0	0	0	0	0	